紙パ連合

発行所
日本紙パルプ紙加工
産業労働組合連合会
〒107-8333　東京都港区北青山
2丁目12番4号
TEL 03-3402-7656
FAX 03-3402-7659
URL http://www.jpw.or.jp/
発行人　鈴木辰男
購読料は組合費に含む
定価2頁10円、4頁20円

2010～2011年度 運動方針を決定する

第32回定期大会ひらく

紙パ連合は、七月十五日～十六日（兵庫県神戸市・神戸メリケンパークオリエンタルホテル）、『働く仲間の連帯を強め、希望ある安心・公正な社会を築こう』をメインスローガンに第三十二回定期大会をひらき、来賓をはじめ、中央役員、代議員、特別代議員、傍聴あわせて百八十二名が出席しました。

今大会では、二年間の活動方針として「①雇用の安定と生活の向上をはかるとりくみ、②魅力ある産業づくりへのとりくみ、③組織の充実と活性化へのとりくみ、④福祉共済活動充実へのとりくみ、⑤社会的責任に応えるとりくみ」の五つの柱を重点にした議案が、活発な論議が行われたあと、全会一致で承認されました。

総勢182名が参加しました

議長団に鈴木氏（王子板）・篠原氏（王子特殊）

紙パ連合第三十二回定期大会は、小野中央執行委員（日本製紙パピリア）の開会あいさつで始まり、資格審査・議事運営・選挙管理委員（花沢委員長・北越製紙、他十名）を選出、議長団には鈴木（王子板紙）・篠原（王子特殊紙）代議員が選出され議事が進められました。

鈴木中央執行委員長のあいさつ（次ページに要旨掲載）を受けたあと、来賓として迎えた、日本労働組合総連合会（連合）の中島総合政策局長、日本化学エネルギー鉱山労働組合協議会（ICEM・JAF）の徳永副事務局長、日本紙加工産業労働組合協議会（紙加労協）の小林議長、韓国・全国化学労働組合聯盟の韓委員長よりそれぞれ祝辞をいただきました。

報告事項では、二〇一〇年一月から六月までの一般経過報告、人事委員会報告、二〇〇九年度会計決算ならびに会計監査報告がされ、拍手多数で承認されました。

開会あいさつをする小野中執

閉会あいさつをする清水副委員長（北越）

すべての議案を可決

●第一号議案
「二〇一〇～二〇一一年度運動方針」
○要望・意見を含めた質疑応答（二～三面に内容を掲載）が行われたあと挙手採決の結果、全会一致で原案が可決されました。

●第二号議案
「規約・諸規定の改廃」
○直接無記名投票の結果満票で原案が可決されました。

●第三号議案
「二〇一〇年度予算」
○質疑応答が行われたあと、挙手採決を行った結果、全会一致で原案が可決されました。

●第四号議案
「中央役員の改選」
○選挙管理委員長から選挙方法の説明を受け、任期満場による役員選挙は満場の拍手で立候補者全員が信任されました。

●その他議案
①上部・外部団体役員就任の取り扱い、
②重要財産の処分
○挙手採決を行った結果二件とも全会一致で原案が可決されました。

退任中央役員の表彰では、第十三回中央執行委員会からの報告を受け、今定期大会をもって退任することとなった、橋本中央書記長、鳥居・深谷・小野・中山各中央執行委員、山河会計監査の六名に対し表彰を行い、それぞれお礼のあいさつがありました。

引き続き、大会スローガンを確認したあと、大会宣言を、塚本代議員（大昭和ロジスティクス）が読み上げ満場の拍手で確認されました。

最後に、清水中央副執行委員長（北越製紙）の閉会のあいさつ、鈴木中央執行委員長の「団結がんばろう」で定期大会を終了しました。

議長団を務めた鈴木代議員（左）、篠原代議員

議事運営委員長を務めた花沢代議員

大会宣言を読みあげる塚本代議員

民主党の細野幹事長代理と小林参議院議員も激励に駆けつけてくれました

小林参議院議員

細野幹事長代理

大会宣言

日本経済は、バブル崩壊以降、非正規労働者が過度に増加し賃金水準もこの10年間低下し続け、企業の総額人件費抑制の経営姿勢が顕著になっている。このため消費は低迷し、景気に先行きの明るい兆しは見えてこない。

このような中で、先の参議院選挙では民主党が惨敗した。民主党には、ねじれ国会の現実を踏まえ、国民主体の政策を実現するため円滑な国会運営が求められている。

紙パルプ・紙加工産業も景気の低迷から大幅な需要減少に陥った。現状は回復傾向にあるが、今後大きな需要の伸びは期待できず各社で収益改善の諸施策が実施されている。

この中には、コスト削減に伴う総額人件費抑制などが含まれ、短期利益追求の姿勢が強くなっている。

産業の発展は労使の目標であるが、それには将来を見据えた施策とそれを理解し働きがいのある職場環境が必要である。そのためには労使が徹底した論議をおこなうことが重要である。

また、経済や雇用以外に福祉や環境など様々な社会的問題にも直面している。

こうした状況の中で、私たちは紙パルプ・紙加工産業を基盤に連合運動を推進し、希望の持てる安心・公正な社会を築くため、

●雇用の安定と生活の向上
●安全衛生活動の強化と安心できる職場環境作り
●組織拡大活動の強化と中小労働運動の充実
●高年齢者雇用の安定と少子高齢化社会への対応
●政策制度要求の実現と福祉型社会の確立
●国政選挙・地方選挙への対応

を重点課題として取り組む向こう 2 年間の運動方針を確立した。

私たちは、この運動方針を推進することによって一人ひとりが連帯を深め紙パルプ・紙加工産業に働くすべての人たちの幸せと、社会に誇れる魅力のある産業を築いていくことをここに宣言する。

2010年7月16日
日本紙パルプ紙加工産業労働組合連合会
第32回定期大会

連帯と相互の支え合いで安心・公正な社会を築こう

定期大会での意見・質問を含めた質疑応答の内容を紹介します。なお、紙面の都合で内容を要約しています。

魅力ある産業づくりへのとりくみ

高橋代議員（日本製紙）　中小企業の組合活動で、一時金の年間集約のとりくみで、企業業績の悪化などにより導入は進んでいないが、今後どのようにして導入に向けたとりくみを進めるのか。

永松代議員（日本製紙）　中小企業の労働組合訪問で、これまでの訪問実績と今後の中小企業の労働組合訪問はどのようにしていくのか考えを聞かせてほしい。また、訪問した中での特徴的な意見について聞かせてほしい。

執行部　一時金の年間集約については、一時金五ヵ月、年間賃金十七ヵ月という考えで取り組みを進めてきた。しかし、最近の各組合の要求を見ると金額要求が増加している。これまでの年間一時金五ヵ月という月数要求基準についても論議を深め、考え方の整理をしていきたい。また中小労組で会社側に年間集約について申し入れをしている組合もある。しかし、企業業績が安定しない中で会社側の対応は厳しい状況になっている。一時金の年間集約を進めることで共闘体制を強化することも含めて、今後も取り組みを進めていく。

中小労組の組合訪問については、ほぼ全組合の訪問をしたが、今後も引き続き進めていきたい。また、中小組合の取り組みでは、組合訪問と合わせて、各地本でSグループ会議を開催し、地域間の交流や若年層の育成などの課題について協議できる場を設けていきたいと考えている。

中小組合の特徴的な意見としては、世代交代に向けた、若年層の育成が大きな課題という意見が多かった。若年層の教育については、地本単位での開催ができるように取り組みを進める。

組織の充実と活性化へのとりくみ

浦田特別代議員（東北地本・丸三製紙）　地本活動の統一化に向けて、具体的な取り組みについて聞かせてほしい。また統一化の進捗状況の検証・点検はどうするのか考えを聞かせてほしい。

大西代議員（日本製紙）　地本活動で、地本の大会会場の経費削減を考えるが、本部の大会会場も公共施設を利用する必要があるのではないか。

佐野代議員（日本大昭和板紙）　本部の役員体制で、非専従中央執行委員が減少し、三役と執行委員がほぼ同数と、バランスが悪くなっていると感じる。今後の見直しを含めて考えを聞かせてほしい。

執行部　地本活動の具体的な活動方針は、これまで通り中小活動の強化に向けて取り組む。点検については、地本の委員長・書記長会議等の中で、各地本の実態を把握し、問題点の抽出など論議を深めたうえで点検し充実した活動を目指す。

地本活動の統一化については、各地本の活動内容が地本によって、違うのが現状である。効率的な活動を目指すうえで一定の考えを示したのが、今回の活動の統一化に向けた考えである。また、地本活動資金の係数については、たとえば北海道で会議を開催すると宿泊を伴うこともある。一方関東地本などは都内の組織が多いことがあり、交通費が低額ですむ。そのようなことから係数を算出した。

支出の削減については本部としても取り組んでいる。本部役職員数の減少、パート職員の採用など、支出削減に努力している。大会会場については、本部として経費削減を視野に入れて、旅行会社も二社で競合している。公共の施設も検討しているが、二百名近くの参加者が同一会場で懇親会まで行うとなると、なかなか会場がないのが実態である。大きい産別では、代議員数が多いこともあり大会後に懇親会などを行わない産別もあり懇親会を考えなければ公共の施設を使用することも可能になるので、今後大会の実施方法も含めて考えていく。

紙パ本部の役員体制については、人事委員会から報告があったように書記次長の設置と中央執行委員の減少ということで中央執行委員会構成メンバーは、書記次長を加えた三役が九名、中執が八名とバランスは悪くなっている。今回の書記次長は特別なことであり、今後は専従副委員長の設置も含めて検討が必要ではないかと考える。

団結ガンバローで運動の発展を誓い合いました

永い間ご苦労さまでした　退任役員

高橋代議員（日本製紙）

柴田代議員（興人）

永松代議員（日本製紙）

浦田特別代議員（東北地本）

鈴木代議員（日本製紙）

佐野代議員（日本大昭和板紙）

大西代議員（日本製紙）

社会的責任に応えるとりくみ

鈴木代議員（日本製紙）　地方選挙の取り組みで、昨年八月の熊本県八代市議会議員選挙「のざき　しんや」、今年五月の宮城県石巻市議会議員選挙「ほりかわ　よしのり」が組織推薦され、皆さんのご支援により上位当選を果たすことができた。ご協力に感謝し御礼申し上げます。

全会一致で運動方針が決定されました

来賓挨拶　ありがとうございました

連合　中島　総合政策局長　第三十二回参議院選挙で、民主党が過半数割れと残念な結果になったが昨年八月に政権交代を成し遂げた意義は変わっていない。今後はねじれ国会となり国会・政府運営は困難が予想される。しかしこれまでの新自由主義的な政策をきちんと見直し、民主党の生活第一という政策が磐石になるように支援をしていく。

連合は労働を中心とした福祉型社会を追求するために、民主党とはトップ会談、事務局長・幹事長クラスの定期協議、各省庁との政策協議などで論議し、政策づくりにも協力している。

連合結成二十周年を経て「二十一世紀社会ビジョン」の見直しをしている。労働を中心とした福祉型社会に向けて、政治との関係も含めて新しいビジョンを策定しているところであり、その内容がまとまり次第、今後は各組織での討議で、よりよいビジョンになるように皆さんの積極的なご意見をお願いしたい。

ICEM－JAF　徳永　副事務局長　ICEMは化学・エネルギー・鉱山の産業別組織で、ICEM－JAFはUIセンセン同盟、JEC連合、科学総連、ゴム連合、化労研、電力総連、全国ガス、紙パ連合の八産別で構成されている。そこに、国際金属、国際繊維との三者統合が検討されている。なぜ組織統合なのかというと、自動車を製造するためには、鋼鉄、金属、ガラス、プラスチック（樹脂）、化学品、ゴムなどICEM加盟産業由来のものが多く含まれる。このようにさまざまな産業が関わって製品が出来上がる。つまり係わり合いの深い産業同士がひとつになり、より大きな声として労働運動が展開できる。

また、経済も雇用もグローバル化する中で、多国籍企業に対応するために、労働運動のグローバルが必要になる。今後の国際産別の統合については、各構成組織と十分に論議し、より良い組織になるように、本部や関係産別と協議していく。

紙加労協　小林　議長　段ボール産業も製紙同様に、リーマンショック以降生産量が落ち込み、昨年は十五年前の水準となった。今年一～五月の生産量は対前年比で一〇五・三%と前年を上回っているが、前々年比では九四・五%とリーマンショック以前の水準には至らない。また段ボールの使用が一番多い飲料を含む加工食品の分野が頭打ち傾向にあり今後の動向が注目される。

安全面では、昨年の労働災害は百九十二件で、前年から十九件下回り二百件を切った。二十五年前は五百件近く発生していたが二百件前後まで減少したものの、ここからの大きな減少がないのが実態である。昨年は死亡災害がなかったが、残念ながら今年五月に一件発生した。仲間の安全を守るという部分で、緊張感を持った安全意識が必要であり、安全の取り組みは組合活動の原点のひとつであることを認識し災害撲滅に向けてとりくんでいきたい。

魅力ある産業をめざそう

連帯強化を訴える鈴木委員長

今大会には女性代議員が一名参加しており、心より感謝している。今後も多くの女性の参加をお願いしたい。

●国民のための政治を

七月十一日に行われた参議院選挙では、組織推薦した電力総連出身の「小林正夫」氏が、上位当選した。一方で民主党は過半数獲得どころか改選前より十議席を失い惨敗した。政治と金・普天間問題など、この九カ月を含めて国民が「お灸」を据えた形になった。民主党には、戦後初めて政権交代した意味を胆に銘じ、バブル崩壊から約二十年間低迷する経済、拡大する財政赤字、そして信頼感が低下した社会保障などを改善し、元気な日本を取り戻す政策の早期実現が望まれている。

●厳しさを増す紙パ産業

紙パ産業は、二〇一〇年の紙・板紙の国内需要を前年比〇・九%減の二七六一万tと予測。過去三年連続で内需は減少、各社は成長著しい海外市場に進出、輸出拡大に力を注いでいる。北欧やアジア勢の熾烈な競争に打ち勝つために、工場の集約化や老朽マシンのスクラップ化は避けて通れない課題として、「需要量に見合った生産設備能力のスリム化を実現し、余力は海外市場で販売する。国内工場においては今後も投資を続ける工場と、そうでない工場の見極めを進めていくと同時に効率と機動力に磨きをかけていく」としている。

●労使協議の充実を

したがって会社から、経営施策上の提案が多くなっていると思われる。その提案は必ずしも労使合意が必要ではなく、経営者の責任下において決定されるが、労使協議の中で経営者は組合の主張を最大限尊重し労使合意に向けた誠意と協力が要請される。ただし、組合員の雇用に直接的に影響を与えるものであれば団体交渉的な性格を帯び労使合意が前提となる。団体交渉は雇用や労働条件が中心的に扱われ労使合意を必ず出すことが必要。合意が達成されなければ争議行為に入るが、争議行為は最後の手段であり最大限話し合いの中で労使合意を結ぶことを第一義としている。また、通年で話し合う労使協議制のなかで、団体交渉事項も処理されていないか、再度見直す必要がある。

●共闘・連帯の強化を

日本経済の「失われた二十年」の最大の要因は、あまりにも短期的に利益のみを追求し、総額人件費の抑制を是とする経営姿勢ではないか。個人消費は伸びず国内市場は縮小、現場力も弱まり品質の低下を招き海外との価格競争を強いられデフレスパイラルという悪循環に落ち込んでいる。そして我々労働組合も、目の前の企業経営にとって良かれと思い協力してきたことが、マクロ経済において逆に自分たちを苦しめている。

二〇一〇春闘は、デフレ経済下の日本経済をどの様に元気にするかという春闘であった。連合は、昨年十月時点での個別企業の経営状況が極めて厳しいため、定昇維持または賃金カーブ維持を最低限の要求とし、ベアについては各産別で可能な限り取り組むとした。しかし、賃上げ要求をする・しないは百%企業業績に左右されるものではなく、十年以上も低下し続けている賃金水準の回復、賃上げによる個人消費の拡大でデフレからの脱却など様々な観点から年間で五千四百名減少した。とにかく組織拡大が緊急の課題である。関係会社やグループ企業の中でターゲットを決めて粘り強くオルグ活動を行い一歩でも二歩でも前進し組織拡大につなげよう。

●運動の意義を通じ育成教育の取り組みを強化

紙パ連合結成二十二年となった。この様な中で紙パ産業は、印刷・情報用紙の落ち込みなどにより、売上げは減少したが原燃料価格の下落と総額人件費削減などのコストダウンにより、総じて収益を確保されると予想され、この根拠のもとにこれ以上の産業間格差を開かせないため、要求に賃金改善を取り入れた。紙パ連合を含め四産別が賃金改善を統一要求に掲げ取り組んだが、結果的には一部を除いて賃金カーブ維持に留まった。しかし、賃上げ要求をする・しないは百%企業業績に左右されるものではなく、十年以上も低下し続けている賃金水準の回復、賃上げによる個人消費の拡大でデフレからの脱却など様々な観点から年間で五千四百名減少した。とにかく組織拡大が緊急の課題である。関係会社やグループ企業の中でターゲットを決めて粘り強くオルグ活動を行い一歩でも二歩でも前進し組織拡大につなげよう。

●運動の意義を通じ育成教育の取り組みを強化

紙パ連合結成二十二年が経過し、産別組合員の三分の二以上が結成当時の三組織も知らず、当時の合い言葉「顔合わせ、心合わせ、力合わせ」も記憶の遠くにあり、ましてや結成に携わった人は殆どいないのが現状である。若い組合員にとっては、労働運動・労働組合とは「何か」、ただ「高い組合費を取って何して

鳥居中央執行委員（特種製紙）

橋本中央書記長（日本製紙）

小野中央執行委員（日本製紙パピリア）

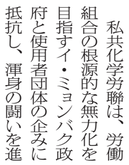
中山中央執行委員（王子板紙）

深谷中央執行委員（巴川製紙所）

山河会計監査（東海パ）

韓国・全国化学労働組合聯盟　韓　委員長　私共化学労聯は、労働組合の根源的な無力化を目指すイ・ミョンバク政府と使用者団体の企みに抵抗し、渾身の闘いを進めている。今年初めに改正された労働組合法は、労働組合の基本的権利さえも否定しようとする悪法中の悪法であり、私共化学労聯は組合活動を制約するその如何なるものに対しても、断固として闘い抜く姿勢である。

昨年、韓国経済はプラス成長を記録したが、グローバル化による新自由主義の拡大は雇用不安と失業者の増大をもたらし、労働者の実質的購買力の低下により大恐慌の到来を招く恐れがある。そうした事態を阻止するため、アジア太平洋地域労働運動の要としもいうべき韓・日両国労働運動の協力と団結、ネットワークの形成は喫緊の課題であり、我々の交流もその一端を担う活動であるが、更なる発展に向け共に頑張ろう！



自然と融合し環境の実態を知る

学習と交流の集いIN北海道

紙パ連合青年女性委員会は二〇〇九年度学習と交流の集いを、七月一日～三日・北海道で開催し、総勢六十二名が参加しました。今回の学習と交流の集いは、一日目にライフプランに役立てるため、「年金制度と私たちの暮らし」と題し、明治安田生命の金子氏からパピルス年金共済制度の内容や各種福祉共済制度の講演を受けた後、各地本の活動内容の報告を行いました。二日目は、北海道の自然と触れ合うことをテーマに、富良野自然塾において植樹体験をした後牧場で酪農体験をしました。

今後の労働組合を担う人材の育成教育の観点から、各地本の青年女性委員の自主性を尊重しながら、実践教育の場として引き続き活動を進めていきますので、各組合・支部のご理解とご協力をお願いします。

日本製紙ケミカル労組　阪後　公善

北海道の大自然の下、他労組の人々とコミュニケーションをとれたことは、自分にとって貴重な財産となりました。

今回の学習を通して自然の大切さを改めて認識しました。紙に携わる会社に勤める人間として、今回感じ取ったことを仕事やプライベートに活かしていきたいと思いました。

王子板紙労組名寄支部　川田　恭平

今回の研修は、北海道の良さを再認識出来る良い研修でした。

富良野では植樹を通して自然を、美瑛ではCMにも使われたという美しい景色を、そして、ジンギスカン・ラベンダーソフトなどの美味しい食事と、近くだからこそ気付かなかった北海道を見る事が出来ました。

ユニオンチューエツ　篠島　隆徳

今回一番印象に残っている事は植樹体験です。苗を植えるだけでなく、四十六億年の地球の歴史や自然の営みを知り大変勉強になりました。これからは自然のために出来ることから行動を改めようと思います。

また、みなさんと交流を深めることが出来て楽しい北海道でした。

南光運輸労組　山下　秀樹

私たちの老後と今の厚生年金の現状を聞き、将来の事を真剣に考えさせられ、すごく勉強になりました。

また、他の地本の活動内容を聞き、自分たちの地本や単組でも活かしていきたいと思いました。今回の学習と交流の集いに参加出来て、大変良かったと思います。

加賀製紙労組　金谷　智幸

初めての参加で、今まで会った事もなかった他の単組の方々と交流をしてみて、今後参考にしていきたい事や色々な事を学べたと思います。

そして、北海道という行った事のない土地での植樹体験などを経験させてもらい思い出も出来ました。本当に楽しい交流が出来たと思います。

丸住製紙新労組　高原　遼平

今回の活動を通して、森林の大切さを学びました。人間が地球で生活するためには、酸素が必要不可欠であり、その酸素を供給してくれる森林が減少していることを知りました。

僕たちは製紙という森林とは切っても切れない関係の仕事をしているので、これからは森林のことを深く学んでいきたいと思います。

!"#　$ %&'(

王子新労組神崎支部　稲岡　健治

今回、学習と交流の集いIN北海道に参加して一日目の年金制度の講演を聴いて、正直まだまだ先のことだと思っていましたし、パピルス年金のことも良く知りませんでしたので、大変参考になりました。講師の金子さんのわかりやすい説明で多少は理解できたと思いますので、今後のライフプランに役立てたいと思います。

伊野紙新労組　濱﨑　建伍

二日間、色々な話や体験をさせてもらい、本当にありがとうございました。特に印象に残っているのは、富良野自然塾での体験です。地球の歴史など、原点に戻り人間にとって何が大事かという事を再確認できました。「地球は子孫から借りているもの」という言葉に心がゆるがされ、木材や緑を大事にしていこうと思いました。

また、人との交流でも各地の方々と話しが出来て、視野も広がり少し成長出来た気がしました。

日本大昭和板紙労組本社支部　中村　真衣子

今回の学習と交流の集いに参加して、年金関係の講演では、自分自身の将来について、植樹では環境と密接に関わりのある会社に身を置くもの、この地球に住むものとして、将来の地球環境について考える良い機会になりました。

また、普段会うことのない方々との交流ができたことは非常に良かったと思います。

王子製紙新労組本社支部　高橋　真理子

植樹体験では、環境について色々なお話を聞く事が出来ましたが、同時に、まだまだ製紙産業は誤解されている点が多くある事を知り、製紙産業のとりくみや、活動を世間の人に知ってもらう努力が必要だと実感しました。また、各地本の方々と共に活動することで、様々な視点からの捉え方・考え方を伺えた事は貴重な経験でした。

巴川製紙所労組　高村　正

研修では、まず年金についての講演があり、定年後に必要な生活費などが具体的な数字で示され、今から準備する事の重要性がわかりました。

二日目の植樹体験では活動を通じて地球の歴史と、その中での人間の歴史に短さを肌で感じる事が出来ました。

今回の研修は、未来について考える良い機会となりました。

日本製紙労組岩沼支部　福井　洋樹

今回、学習と交流の集いに初めて参加し、どんな人たちが参加するのかという不安とどのような内容であるのかという期待感がありました。実際にメンバーと顔を合わせてみると、話しやすい人たちばかりで不安もすぐになくなりました。

全国のさまざまな人たちと交流し、講演や植樹などの良い経験ができました。

)* +,
-.